

院長先生（調査対象：総看護師長 調査表－B）

平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）分担研究
『在宅看取りの阻害要因に関する研究』
アンケート調査ご協力のお願い

謹啓

初春の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

高齢者の増加、価値観の多様化に伴い、病気をもちつつも可能な限り住み慣れた場所で、自分らしく過ごす「生活の質」を重視する医療が求められています。

私どもは入院医療の最大の目標は、いかに円滑に患者を在宅生活に復帰させるかという点にあると考えます。

平成 19 年に厚生労働省の研究費『重症高齢者等を支える在宅療養支援診療所等の量的・質的整備計画事業』において調査をいたしましたところ、「疾病傷病による通院困難者」に対して、約 5 割が転院、約 2 割がそのまま自院で通院し何かあれば入院という結果であり、7 割の方の在宅復帰が叶わないということがわかりました。

6 年が経過し、病院での死亡率は低下し、在宅死亡率は高くなる傾向にあります。そこで今回、厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）による分担研究として、平成 19 年の調査研究とほぼ同じ内容で宮城県内の病院の医師、総看護師長、地域連携室を対象に、震災を経た 6 年の間の変化について比較調査を実施することといたしました。

ご多用中たいへん恐縮ですが、今後の厚生労働省の施策に生かされる重要なデータとなりますので、ご担当の方に回覧の上、ご回答頂きますようよろしくお願い申し上げます。

謹白

平成 26 年 1 月

分担研究者 川島孝一郎
(仙台往診クリニック 院長)

【研究代表者】

大島伸一（独立行政法人国立長寿医療研究センター 総長）

【研究課題名】

被災地の再生を考慮した在宅医療の構築に関する研究

【研究事業予定期間】

平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで

【分担研究名】

在宅看取りの阻害要因に関する研究

【調査対象者】

- 医師・・・・・・・・調査表－A
- 総看護師長・・・調査表－B
- 地域連携部署・・・調査表－C

【調査の実施主体】

この調査は、平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）分担研究『在宅看取りの阻害要因に関する研究』により仙台往診クリニック（院長 川島孝一郎）が行うものです。集計・解析は仙台往診クリニック研究部が実施いたします。

【プライバシーの保護について】

個人情報保護法を遵守し、得られた結果は統計的に処理して、個人が特定されるデータとして公表されることはありません。調査内容は皆様の個人情報を含んでおりますので、厳重に管理し、みだりに用いることはありません。研究成果を開示する際も、貴施設を特定するような情報は公表しません。また、この結果を本研究事業以外の目的に用いることはございません。

【調査票配布対象先】

“宮城県ホームページ医療整備課「宮城県病院名簿」の掲載病院”

【調査同意の可否】

この調査への協力を拒否されたり、同意を取り消されても今後貴施設に何らかの不利益が生じることは全くございません。

◇以上この調査の趣旨をご理解頂けましたら、以下をお読み頂き、ご回答賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

調査の趣旨を理解いたしました。（☑を入れてください。）

1. はい 2. いいえ

調査に協力することに同意します。（☑を入れてください。）

1. はい 2. いいえ

【回答にあたってのお願い】

1. 設問をお読みいただき、あてはまる番号に○をつけるか、ご記入ください。設問によって、「1つ」「あてはまる番号をいくつでも」など、○をつける数が異なりますので、ご注意ください。「その他」等のところは具体的にご記入ください。
2. ご回答頂きましたアンケートは、同封の返信封筒に入れて、

1月31日(金)までにポストに投函してください(郵送料はかかりません)。

3. この調査に関するご質問やお問い合わせ等は、下記までお願い致します。

仙台往診クリニック研究部
担当：遠藤・佐々木
〒980-0013 仙台市青葉区花京院2丁目1-7
TEL：022-722-3866(平日9～17時)
FAX：022-722-3877(24時間)
e-mail：kenkyu@oushin-sendai.jp

調査対象：総看護師長

調査

表一B

1. 退院患者数について

以下の問1-1～4については、別紙の回答用紙に、平成25年11月の1ヶ月分の貴院各病棟ごとの数値・選択肢をお答えください。病棟ごとの回答が困難な場合には、病院全体での総数のみをお答えくださっても構いません。

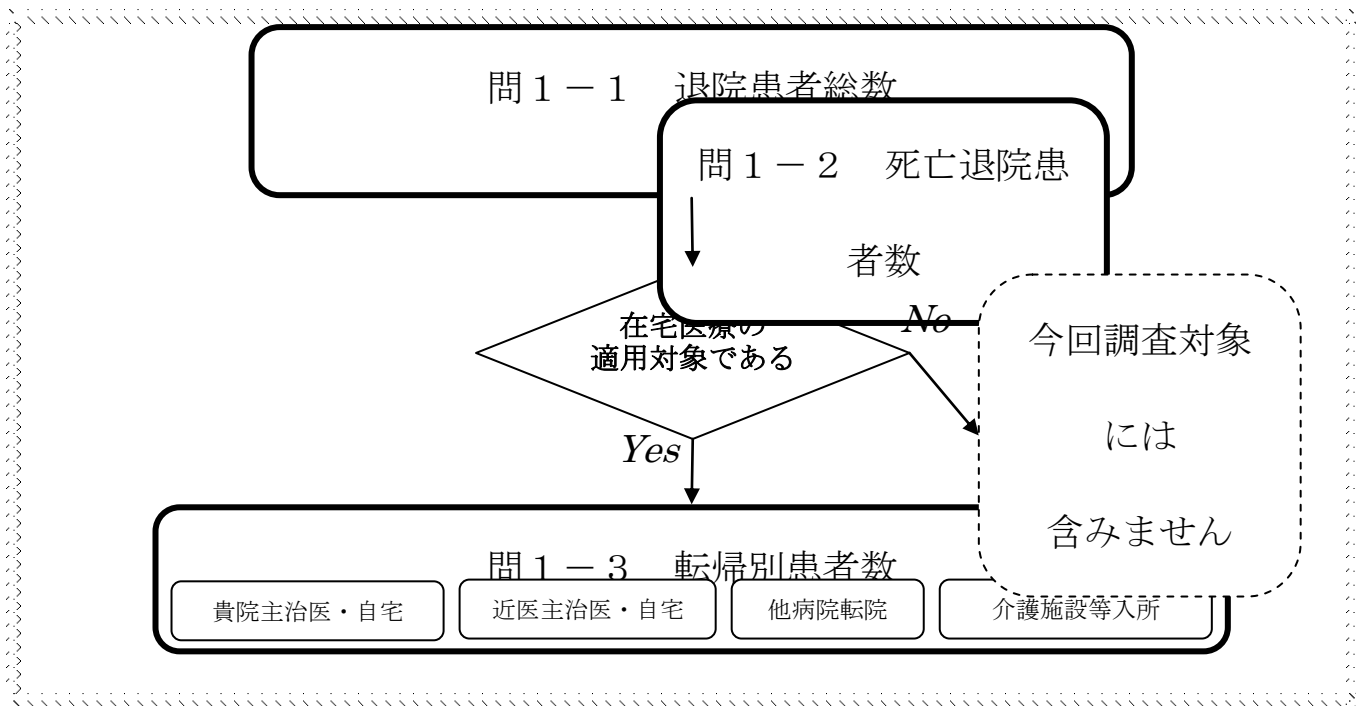
問1-1 退院患者総数（死亡退院を含む）をお答えください。

問1-2 死亡退院患者総数をお答えください。

問1-3 在宅医療適用の対象となる患者について、以下の各項目の人数をお答えください。

※在宅医療の適用患者は「疾病・傷病による通院困難な場合」となっております。ただし、癌末期の方、高度認知症で徘徊の著しい方等は、歩行可であっても適用となります。この原則に当てはまる患者についてのみお答えください。

- | |
|------------------------------------|
| ・ 貴院の主治医継続のまま、自宅へ |
| ・ 近医が主治医となり、自宅へ |
| ・ 他病院（療養病床含む）へ転院 |
| ・ 介護施設等（老健、特養、有料老人ホーム、グループホーム等）へ入所 |
| ・ 死亡退院 |



問1-4 地域医療連携室へは主にどのような経路で患者を紹介しますか。も
っとも多いものひとつに○をつけてください。

1. 医師の判断で紹介する。
2. 看護師の判断で紹介する。
3. 医師・看護師が相談の上紹介する。
4. 患者・家族が直接相談に行く。
5. その他 ()

記入例：

病棟名	問1-1 各病棟退院患者総数(人)		問1-3 在宅適用となる患者数(人)				問1-4 連携室への紹介の判断
	問1-2 死亡退院 患者数(人)	貴院主治医 自宅	近医主治医 自宅	他病院 転院	介護施設等 入所		
貴院合計							
1 6階東病棟	100	12	10	3	5	1	1
2 6階西病棟	78	10	7	2	3	1	5 0 0 0.....
3 :	:	:	:	:	:	:	:

2. 貴施設について

問2-1 貴施設について、以下の項目にお答えください。なお、医療機関名、
所在地（市区町村名）は、必ずお書きください。

医療機関名（必須）			
所在地	〒	市区町村 名 (必須)	市区 町村
電話番号			
病床数	() 床 うち療養病床 () 床		
平均在院日数	一般病床 () 日		
職員数	医師 常勤 () 人 非常勤 () 人		

	看護師 常勤（ ）人 非常勤（ ） 人
あてはまるものすべて に ○をつけてください	・ 地域医療支援病院 ・ 地域がん診療拠点病院 ・ 特定機能 病院

～以上でアンケートは終わりです。ご協力誠にありがとうございました。～

別紙 問 1-1～問 1-4 回答用紙

2013 年 11 月の 1 ヶ月間の実績をお答え下さい。

(病棟ごとの回答が困難な場合には、総数のみの回答でも構いません)

病棟名	問1-1 各病棟退院患者総数(人)		問1-3 在宅適用となる患者数(人)				問1-4 連携室への紹介の判断
		問1-2 死亡退院 患者数(人)	貴院主治医 自宅	近医主治医 自宅	他病院 転院	介護施設等 入所	
貴院合計							
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							